

アイススケート部連覇ならずも大健闘!

経スポ



金賞 一本準優勝

本学アイススケート部が10月20日から21日にかけて長野県八ヶ岳の麓、野辺山帝産アイススケートリンクで開催された第35回日本学生ショートトラックスピードスケート選手権大会に出場した。

昨年度この大会で悲願の全国制覇を達成した本学アイススケート部は他大学にマークされながらも二連覇を目指した。1日目、五百メートルでは坂本侑馬（経営4年）が6位、吉川政志（経営3年）が2位と順調に得点を稼ぐも、総合力に優れた山梨学院大学、世界大会経験者を擁する神奈川大学に続く総合3位で1日目を終えた。

2日目は最初の種目である千メートルで上村が大会記録を更新し2位の好成績を残すが、他の選手が続けなかつた。続く、本学アイススケート部が最も得意とする三千メートルでは吉川が1位と僅差の2位に入る頑張っぷりを見せるが、この種目でも他の選手が続けなかつた。一方、首位の山梨学院大学は3名が4位6位7位に入る安定した成績

を残し、この時点で4点差をつけられてしまった。

本学が二連覇するには最終の

五千メートルリレーで本学が1位、山梨学院大学が3位以下の

場合しかなくなつてしまつたが

選手達は諦めることなく果敢に

勝負に出た。リレーメンバーアイ

の懸命の滑りで他大学を圧倒

レース途中から本学の独走状

態のまま1位でゴールイン。総

優勝を信じて結果を待つが

山梨学院大学がこのレースで2位

に入ってしまいその差、僅か1

点（山梨学院大学32点、大阪経

済大学131点）で本学の大会二連

覇の夢は断たれてしまった。

今大会は山梨学院大学が選手

一丸となつて常に本学を目標に

1点でも多く点数を取りに来た

のと対照的に、優勝候補筆頭と

言わぬながら思わぬミスの多かつた本学との差が出てしまつた。

それでも昨年度の全国制覇に続

き全国準優勝の成績をあげた本

学アイススケート部の健闘は誰

もが認めるところであろう。

年度はぜひとも王座奪回を期待

発刊：大阪経済大学
スポーツ文化振興室

経E

